

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください。

作業にあたって



部品を正しく交換していただくために、本書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項


お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

同梱されているもの

| シリンダー (サムターン付) | 取付ねじ | 部品交換要領書 |
|---|--|-------------------------|
|  <p>サムターン：1個 HH-3K-19021 振れ止めカラー：1個 ゴムパッキン(黒色)：1枚 シリンダー：1個 子カギ：3本</p> |  <p>シリンダー取り付け用： 皿 M4×55×2本</p> | <div>本書</div> <p>1枚</p> |

作業のために準備していただくもの

| プラスドライバー |
|---|
|  <p>+</p> <p>1本</p> |

※部品が全てそろっていることを確認してください。

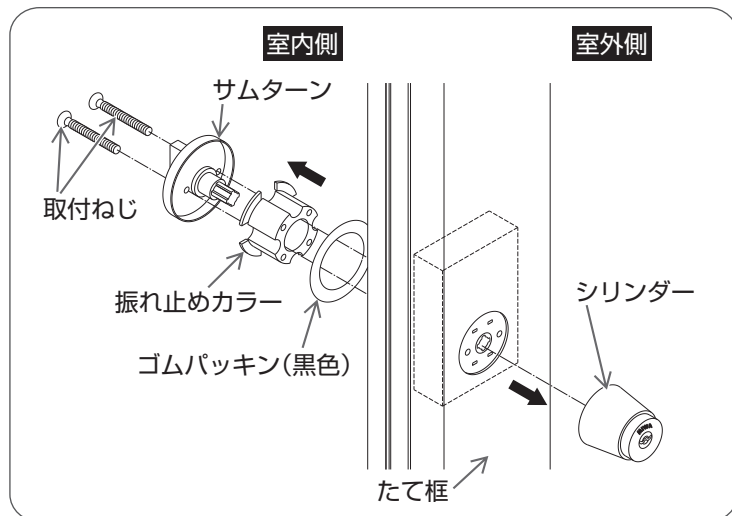
部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

※本要領書は、右勝手で説明しています。

1 シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダー、振れ止めカラー、ゴムパッキン(黒色)をはずす。
※サムターンをはずすとシリンダーがはずれます。
落下にご注意ください。

※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

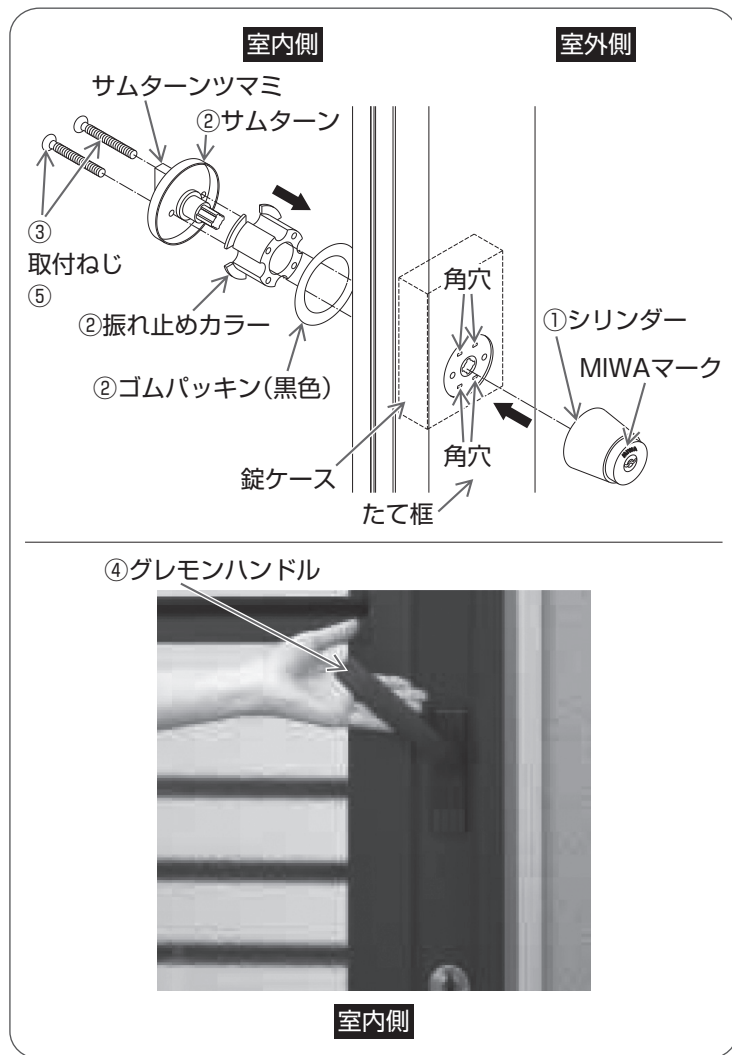
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

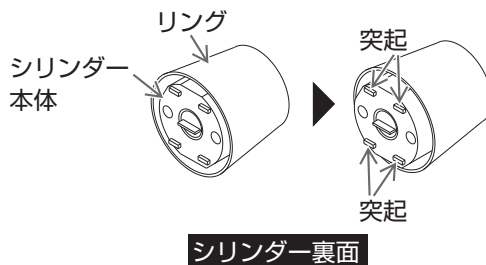
※本要領書は、右勝手で説明しています。

1 シリンダー・サムターンの取り付け



① 室外側よりシリンダーの MIWA マークを上にしてシリンダーを錠ケースの角穴に差し込む。

※差し込む際、シリンダー本体をリングから押し込んだ状態で裏面の4ヶ所の突起(下図参照)を錠ケースの角穴に合わせて差し込んでください。



② サムターンの裏面に振れ止めカラーおよびゴムパッキン(黒色)を合わせ、室内側からサムターンツマミをタテにしてサムターンを錠ケースの取付穴に差し込む。

③ プラスドライバーで取付ねじを仮止める。

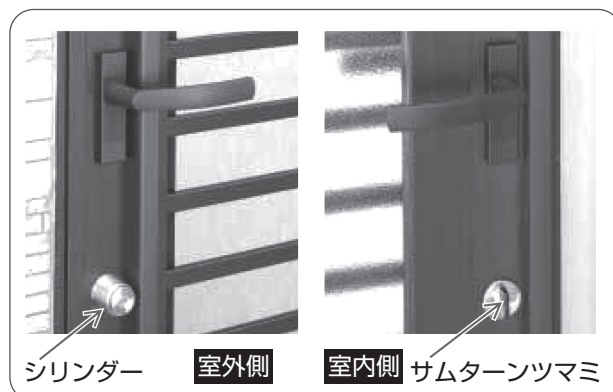
④ ドアを閉め、グレモンハンドルを上げグレモン錠を施錠する。

※グレモン錠を施錠しないと、サムターンツマミを動かすことができません。必ず、行ってください。

⑤ サムターンツマミを数回動かし、動きのよい所で取付ねじをしめる。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。

部品の交換後のチェック



① 部品にガタつきがないことを確認してください。

② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。

③ シリンダーにカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。

④ サムターンツマミをまわし、施解錠ができることを確認してください。

⑤ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。